

ミネラルの宝庫

海からの贈り物

ケルパック 66 粉体

(粗挽きタイプ)



本材は、南アフリカ産・巨大海藻「エクロニアマキシマ」(草丈 12 ~ 13m、茎の直径が 7 ~ 8cm にもなる竹に似た海藻)を天日乾燥後、粉碎した特殊肥料です。

同じ畑に同じ作物を永年作り続けていると嫌地現象が現われ作物が穫れなくなります。これは、その作物を好む病害虫が増えたり、土に毒素が溜まったり、ある種の微量元素が欠乏するからです。このうち、微量元素の欠乏だけは微量元素を施してやる以外に解決の方法はないため施してやらなければなりません。しかし、微量元素は高価であるため、畑全面に施すという発想はなく、欠乏症の現れたときに部分的に株元の土壌へ施すとか、または、一時凌ぎに葉面散布してやる、というのがこれまでのやり方でした。それを、安価で微量元素に富む海藻粉末を畑全面に施すことによって解消し、同時に作物の生育を旺盛にし、増収と高品質化を図るとするのが、「ケルパック66海藻粉体」の土壌施用です。

●海はあらゆる微量元素の宝庫であり、海藻はそれらの濃縮工場

海は陸上の成分の受け皿として全てのものを溶かし込んでいるので、それらのものを陸地に戻すことができれば土は生き返るわけですが、微量元素を海水から工業的に回収するにはコストが掛かり過ぎます。それに対し、海には海藻という大変効率のよい濃縮工場があり、植物の生育に必要なものだけを分別回収してくれるので、その海藻を丸ごと土に戻してやれば土は生き返ることができるのです。ケルパック 66 粉体が“海からの贈り物”といわれる由縁はここにあります。

●主な成分の成分量 (1kg 当たり)

組成		粗タンパク中のアミノ酸量		灰分中の組成	
タンパク質	78.0g	アラニン	7.00g	バリウム	47.0mg
脂質	4.5g	バリン	3.75g	ホウ素	6.0g
炭水化物	431.5g	グリシン	3.50g	カルシウム	27.1g
内アルギン酸	25.0%	イソロイシン	2.30g	コバルト	8.0g
マンニトール	7.0%	ロイシン	4.50g	銅	16.0mg
ラミナリン	0.4%	プロリン	4.60g	フッ素	10.0mg
繊維	102.0g	スレオニン	3.80g	ヨウ素	700.0mg
水分	94.0g	セリン	5.20g	鉄	1.1g
灰分	290.0g	メチオニン	1.80g	マグネシウム	7.4g
計	1,000.0g	フェニルアラニン	200mg	マンガン	210.0mg
		ヒドロキシプロリン	900mg	モリブデン	9.0mg
		アスパラギン酸	7.9mg	ニッケル	8.0mg
		グルタミン酸	500mg	リン	132.3mg
		チロシン	8.30mg	カリ	69.0g
		オルニチン	500mg	セレンウム	0.4mg
		リジン	6.80g	ナトリウム	40.0g
		アルギニン	400mg	硫黄	12.0g
				亜鉛	60.0mg

ビタミン	
A (カロチン)	510Unit
B1	164mg
B2	2.8mg
C	193mg
カルシウムパントテン酸	2.7mg
ナイアシン	17.2mg

●ケルパック 66 海藻粉体の成分とその効力

ケルパック 66 粉体は植物栄養素の宝庫に喩えられます。無機ミネラルは、一般に水に溶解難く、植物に吸収され難いものですが、ケルパック66中のミネラルはアルギン酸等の多糖類と結合し水に溶解しやすいキレート状になっているため根や葉から容易に吸収されます。ケルパック 66 がミネラルの供給源として優れている理由はここにあります。

●ケルパック66粉体の効力と液体の効力の違い

ケルパック66粉体の場合、液体と同一の効果を引き出すためには液体の施用量より多くの量を必要とします。これは海藻中に含まれる生理活性物質が天日乾燥しているうちに紫外線によって分解されるからです。液体の場合、10アール・一作当りの施用量は通常、0.5～1ℓ/10aもあれば充分ですが、粉体の場合は50kgも必要とします。しかし、先にも述べたとおり粉体にはミネラルが多く含まれているので微量元素の補給のために時々ケルパック液体に代え粉体も施すことをお勧めします。

〈ケルパック66粉体と液体に共通する効力と、粉体にしかない効力〉

[共通する効力]

1. 生育が旺盛・健全になり、根張り向上、光合成能の向上が期待できます。
2. ミネラル、アミノ酸の補給により花芽の充実が期待できます。
3. 光合成能が向上することで、果実の糖度向上や着色の改善、品質向上に寄与します。
また、作物体内の未消化窒素の代謝が促され、日持ち性向上が期待できます。

[粉体にしかない効力]

1. 多糖類やミネラルが豊富であるため土壌中の微生物の働きが活発になります。その結果、土は団粒化し、フカフカして来ます。
2. 微量元素欠乏症の予防になります。

●使用方法と使用量

作物名	使用場面	使用方法と使用量
葉菜類 果菜類 草花	苗床土	床土 1 m ² 当り 25～30g を全面散布し、土と混和する。
	鉢土	ポット用土 1 m ² 当り 0.3～0.7kg 施用し、よく混和する。
	本畑 (元肥として)	全面施用の場合：10a 当り 25～50kg ----- 畝施用の場合：10a 当り 15～20kg
果樹	本畑 (元肥として)	幼木：20～30g/樹、中木：300g/樹、成木：2.5kg/樹
水稻 麦 豆類 いも類	本畑 (元肥として)	水稻の場合：10a 当り 10～15kg 全面散布、土との混和不要。 -----
		麦、豆類、いも類の場合：10a 当り 10～15kg を肥料と一緒に播き溝、植え溝に施す。
芝	ゴルフ場	1 m ² 当り 30～50g 施用し土と混和する。 目土 1 m ² に対し 1.5kg 加用し混和する。

●包装規格 20 kg袋入り